

抗 Glyoxalase I (GLO1) 抗体, ラットモノクローナル (6F10)

74-001 100 µg

保存： 4℃または-20℃で送付、-20℃で保存

抗原： リコンビナント GST-融合マウス glyoxalase I (全長)

形状： 精製ラットモノクローナル抗体 (IgG) 1mg/ml in PBS-, 50% glycerol, 濾過滅菌

アイソタイプ： ラット IgG2b κ

反応性： ヒト、サル、マウス GLO1。他の種はテストしていない。

用途：

1. ウェスタンブロッティング (~x 1,000 希釈)
2. 免疫細胞化学
3. ELISA

他の用途は試していない。

背景: Glyoxalase I (GLO1) はメチルグリオキサールとグルタチオンから S-ラクトイルグルタチオンを生成させる酵素であり、解糖系の副産物である有害物質メチルグリオキサールを除去する働きをしている。

GLO1 は zinc metalloenzyme であり、バクテリアや酵母ではモノマーとして存在するが、ほ乳類ではホモダイマーであり、その配列はよく保存されている。ある種の癌において **GLO1** の過剰発現が見られ、また、**GLO1** は不安症、自閉症、アルツハイマー病に関係があると言われている。

この抗体は無血清培地で培養したハイブリドーマの培地から独自のクロマト法などのマイルドな方法によって精製された。

データリンク： Swiss-Prot [Q9CFU0](#) (マウス)

文献：

1. Chen F *et al* "Role for glyoxalase I in Alzheimer's disease." *Proc Natl Acad Sci USA* **101**: 7687–7692 (2004) PMID: [15128939](#)
2. Junaid MA *et al* "Proteomic studies identified a single nucleotide polymorphism in glyoxalase I as autism susceptibility factor." *Am J Med Genet A* **131**: 11–17 (2004) PMID: [15386471](#)
3. Hovatta I *et al* "Glyoxalase 1 and glutathione reductase 1 regulate anxiety in mice." *Nature* **438**: 662–666 (2005) PMID: [16244648](#)

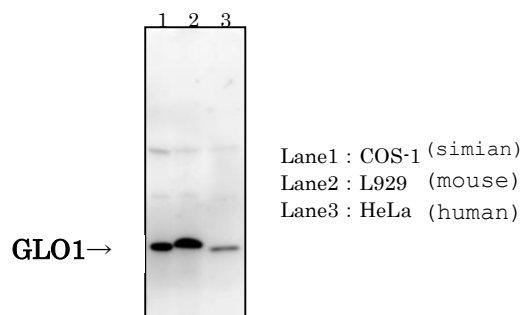


図 1 6F10 抗体を用いたウェスタンブロッティングによる GLO1 タンパク質の検出
サンプルは細胞全抽出液。マウス GLO1 は 27 kDa のバンドとして、ヒトとサルでは 29 kDa のバンドとして検出される。

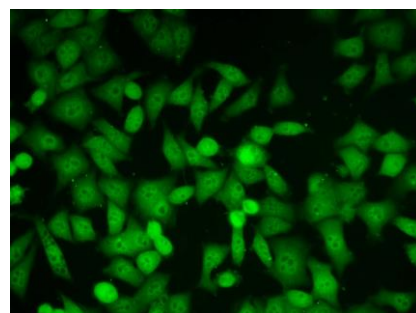


図 2 HeLa 細胞における 6F10 抗体による免疫蛍光染色